

# 新型コロナウイルス感染症対策について



日本クルーズ客船株式会社

2022年2月18日

# 1. 本船概要

船名	：	ぱしふいっく びいなす
船籍	：	日本
船籍港	：	大阪
就航	：	1998年4月
総トン数	：	26,594トン
全長	：	183.4m
全幅	：	25.0m
喫水	：	6.5m
最大乗客数	：	620名
最大乗組員数	：	220名(日本人50名、外国人170名(フィリピン・インドネシア))
客室数	：	230室
乗客層	：	日本人の主にシニア層のご夫婦中心



## 2. 安心・安全な運航に向けて

- ①「外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」  
(日本外航客船協会策定、国土交通省監修 2020年9月初版 現在第5版)  
(目的)
    - ・乗客、乗組員に感染者を発生させない
    - ・船内で感染者が確認されても、同室者以外の乗客・乗組員への感染拡大を封じ込め、クラスターを発生させないこと
  - ②日本船各社は上記のガイドラインに沿った自社のマニュアル(衛生管理規定)を作成
  - ③実効性を高める為の施策
    - ・上記マニュアルを第三者機関である(一財)日本海事協会の審査・認証を取得
    - ・海上運送法に基づく安全管理規程に感染症対策(衛生管理規程)を追加し衛生管理規程を遵守することを義務付(国に各船社より届け出済)
- ⇒ガイドラインへの適合と各港の衛生主管部局を含む関係機関で構成される協議会等の合意を得ることで寄港が可能。  
2020年11月～12月より各邦船社は、運航再開(国内クルーズ限定)

# 3. 感染症対策～ウイルスを船内に持ち込まない

## ○乗客定員について

ソーシャルディスタンス確保の為、人数を制限した上で参加お申込み受付

## ○乗船当日の乗客のスクリーニング

- ①全員のPCR検査 ②検温 ③健康質問票（14日前の渡航歴、体調不良の有無等）の提出
  - ④ワクチン接種完了を確認できる書類（予防接種済証、接種証明書、接種記録書等）の提出
- ①～④で異常なければ乗船

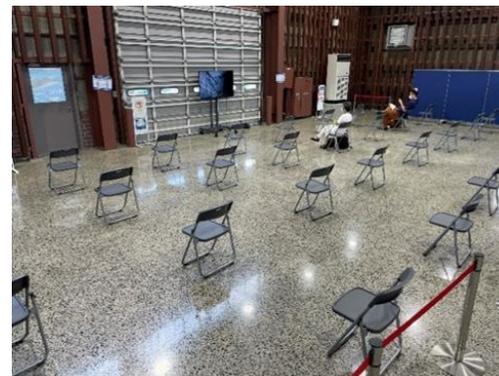
※ご乗船日の15日前までに2回目以降のワクチン接種を完了していないお客様は、乗船日の3日前～乗船前日にお客様ご自身にて民間または医療機関のPCR検査の受検が必要



検温・健康質問票回収ブース



検体採取ブース



結果待ち待機場所



乗船受付 (7/30京都舞鶴港にて)

## ○マスク着用の周知徹底

乗船受付から船内、寄港地観光中も必ずマスク着用

## 4. 感染症対策～船内でウイルスを拡げない

- 船内での定期的な体温測定の実施を周知
- レストラン入口にサーモグラフィーを設置し  
1日3回の検温を実施  
⇒体調不良者の早期発見



- レストランでは  
一つのテーブルには同室又は同室者等のみ同席可とし、  
それ以外の者は同席不可  
同室者以外の方との座席の間隔を1m以上確保  
飛散防止対策としてアクリル板のパテーションも設置



○イベント会場では  
座席数削減やソーシャルディスタンスの確保



各種注意事項の掲示



メインホール



メインラウンジ



マイクシールド使用

(座席間隔 1 m 以上確保)

○施設やイベントによっては、使用および催行中止や収容人数を制限  
(中止イベント一例：ダンスタイム・ダンス教室・パーティー・歌声広場など)



大浴場入口(入場人数制限)



ショップ (入場人数制限)

## ○消毒

客室やパブリックエリアでこまめに塩素系溶剤にて消毒



## ○船内空調 ～ 外気 の取入れ

- ・ 客室並びにパブリックスペースの空調は各々独立。絶えず船外より新鮮な空気を一定量取り入れ直接船外に排気
- ・ 飲食施設内等の二酸化炭素濃度をモニターし、1000ppmを超えないよう常時換気。1000ppmに近づき超えるおそれがある場合は人員の制限、強制排気を実施

## ○船内施設13箇所にバーコードリーダーを設置、乗船証による各施設入場時の登録

⇒感染者が発生した場合に濃厚接触者の範囲を明確化



○船内での乗客への依頼

- ・乗下船時、レストランの入場時、イベント参加時等こまめに手指消毒
- ・人と人との間に十分な距離（可能な限り2 m以上、最低1 m以上）の確保
- ・不要不急な客室間の往来の自粛

○船内にPCR検査機器の導入

医師1名・看護師2名が同乗

体調不良者は船医の判断で船内でPCR検査が可能 ⇒感染者の早期発見

検査数：96検体／1回 検査時間：約20分

○船内で感染が確認された場合、船内で感染者を隔離するスペースの確保。

隔離部屋 30室 13%／部屋数（230室）

# 5. 寄港地における感染予防対策

○上陸時および帰船時に乗下船口での体温測定

○オプションツアーは、（一社）日本旅行業協会などが策定した新型コロナウイルス対応ガイドラインに沿って催行  
利用するバスは（公社）日本バス協会が策定した新型コロナウイルス対応ガイドラインを遵守する会社とし、バスの乗車人数も制限  
参加者がバス乗車前に体調確認、手指消毒を実施



○自由行動予定のお客様

寄港地での行動を把握の為、自由行動予定票を提出  
自由行動中の飲食は自粛

# 6. 乗組員への対策

## ○乗船前

- ・PCR検査の実施（事前及び当日検査）
- ・健康質問票の提出及び乗船前14日間の健康管理表の提出
- ・ワクチン接種を済ませて乗船

## ○乗船後

- ・感染症対策に関する教育・訓練の実施
- ・マスクの着用、手指消毒を徹底。
- ・乗組員区域に非接触体温測定器を設置し1日2回の検温実施
- ・体調不良と思われる者を見かけた場合は遅滞なく報告
- ・船内でのPCR検査を定期的に実施
- ・当面の間は不要不急の上陸は自粛



## 7. 感染が確認された場合

- 感染が確認された場合はクルーズを中止。船内イベントおよび船内施設の使用を取りやめ
- 感染者および濃厚接触者を船内で隔離
- 他の全てのお客様は自室で待機
- 感染者は途中の寄港地で陸上隔離要請し、保健所等関係機関の指示により下船  
その際、他への接触回避の為、一般乗客とは別のルートで下船
- 感染者下船後に最終下船港へ向かう。

## 8. HP等にて感染対策を告知



弊社HPに掲載: <https://www.venus-cruise.co.jp/info/infection.php>